



茨城ワイズメンズクラブ
2020年度-2021年度
12月報 Vol.148

強調月間テーマ

EMC-MC

**THE Y'S MEN'S CLUB OF
IBARAKI
CHARTERED 2006**



国際会長主題.....「命の川を信じよう」
アジア太平洋地域会長主題.....「変化をもたらそう」
東日本区理事主題.....「変化をたのしもう！」
関東東部部長方針.....「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」
茨城ワイズ会長主題.....「楽しくやれる方法を考えよう」

＜12月例会プログラム＞

とき:2020年12月4日(金)

19:00~21:00

ところ:筑波学園教会教育会館1F
(オンライン開催の可能性あり)

司会:熊谷 光彦

開会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

ワイズソング:

ワイズ信条:

- 1、自分を愛するように
隣人(りんじん)を愛そう
- 1、青少年のためにYMCAに尽くそう
- 1、世界的視野をもって
国際親善をはかろう
- 1、義務を果たしてこそ
権利が生ずることをさたろう
- 1、会合には出席第一
社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・食前感謝:

クリスマスメッセージ:片山 啓

「イエスの父、ナザレのヨセフ」

アトラクション:片山 啓

「クリスマス特別クイズ」

ハッピーバースデー&

おめでとう結婚記念日:

茨城YMCA報告:大澤 篤人

閉会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

★巻頭言★「クリスマス特別クイズ」

片山啓

今年のクリスマスは、残念ながらコロナ禍の収束が見えない中で向かえるクリスマスとなり、いつもと違う。教会では、イブ礼拝を見送るところや、祝会もZoomというところも多いようだ。一方で、会社や仲間との飲み会も控えめとなることで、家族でクリスマスを迎える方も多いと思う。

そのため、家庭でのクリスマス会を盛り上げて頂くために、とっておきの「クリスマス特別クイズ」を以下に紹介させて頂く。但し、本クイズはクラブのクリスマス例会で行う予定のため、回答は付けていない。例会に参加できない方は、個人的に連絡して頂きたい。詳細な解説と共に回答を提供させて頂く。

それでは、第1問~4問は簡単な○×クイズから。

Q1.「Christmas」は、「X'mas」と省略できる。

Q2.「クリスマス・イブ」とは、クリスマスの「前日」のことだ。間違いはない。

Q3.「主イエス・キリスト」の誕生は、馬小屋の「飼葉おけ」だ。

Q4.「主イエス・キリスト」が誕生したとき、東方の3人の占星術の学者たちも、星に導かれ「飼葉おけ」に来て祝福をした。

次に、3択問題を3問。

Q5.「サンタクロース」の出身はどこか。

- ①米国、②フィンランド、③ラップランド

Q6.日本で最初のクリスマス祝会は何処で行われたか。

- ①山口県山口市、②長崎県南島原市、③福岡県小倉市

Q7.日本で最初に発刊された書物に紹介されたサンタクロースの名前は？

- ①「三太九郎」、②「三太久朗守」、③「三太九楼州」

以上、意外と知っているようで知らない。もしくは、誤解しているものが多くあると思う。是非、答えを確認して頂き、ご家族などの集まりで活用して頂ければ幸いです。

☆今月の聖句☆

いと高きところには栄光、神にあれ、
地には平和、御心に適う人にあれ。

ルカによる福音書2章14節

【茨城クラブ 11 月例会報告】

11 月例会は、引き続き zoom を利用したオンラインにて実施いたしました。今回は zoom の不具合のため、参加者のみなさまに急遽サブアカウントに移っていただき、少し遅れての開催となりました。

近況報告を含めた雑談の後、今期関東東部役員を務めておられる柿沼部長、布上書記、浅見 EMC 事業主査、樋口ユース事業主査(東京グリーンクラブ)の方々



にも zoom で例会に入ってください、茨城クラブの今期の取り組みである YMCA スタッフへのサイクリング研修、また共催バザーとチャリティーランに代わるファンレイズの取り組みについて熊谷会長より説明が行われました。また、柿沼部長からは主題に基づいた「外に出てみよう」「強みを伸ばしていこう」「学びと親睦を深めよう」との今後の活動の指針となるメッセージをいただきました。関東東部の今期の取り組みである各種キャンペーンについても改めてご説明いただき、ワイズ各員への浸透が深められました。

次回 12 月のクリスマス例会については、感染対策に気をつけたうえで、2 月以来のオフライン開催とすることを決定しました（その後、土浦市や牛久市等の県南部におけるクラスター発生が相次ぎ、茨城知事により 12/13 までの不要不急外出自粛の緊急要請等が出されたため、急遽オンライン開催に変更いたしました）。

(書記 村田)

11 月例会（オンライン開催）出席状況

会員：5 名（片山、熊谷、村田、柳瀬、大澤）、メネット：0 名、スタッフ：0 名、リーダー：0 名、ゲスト：4 名（東京グリーンクラブ）、出席総数数：9 名、在籍者会員数：9 名、会員出席率：56%

【関東東部評議会報告】

11 月 14 日(土)関東東部第二回評議会が東陽町 YMCA と zoom によるハイブリッドにて開催されました。会長の熊谷と会計の柳瀬が zoom 参加いたしました。熊谷はこの日、地元での自治会役員会に自



治会長として出席せねばならず、評議会がハイブリッド開催でなければ、どちらかが欠席となる所でした。

zoom 参加者の発言音声はクリアなのに、リアル会



場の発言者の音声が聞き取りにくいというハイブリッドならではの事情がありましたが、事前に送付していただいたワークブックのおかげで（また他の zoom 参加者からの「聞き取れなかったのでもう一度お願いします」との声により）大きな不都合は感じませんでした。

(会長 熊谷)

【会計報告】

2020 年 11 月 5 日～12 月 3 日

前月繰越金	31,709
会費入金	20,000
送料(会員宛資料送付)	▲420
次月へ繰越	51,289

ワイズメンのみなさまにおかれましては引き続き会費の前納について、ご協力を賜りたく願います。

(会計 柳瀬)



【チャリティーイベント報告】

新型コロナウイルスによって中止となったバザーやチャリティーランに代わるファンドレイジングイベントを11月9日(月)、テストケースとして実施しました。



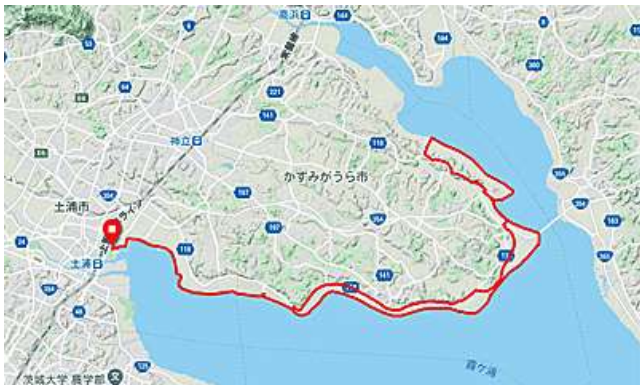
200円の寄付に1食分、500円の寄付に3食分の混ぜご飯をお渡したところ、好評により第2回以降の実施が決まりました。会長熊谷は東新井センターにて、会計柳瀬は東新井と牛久センターにて混ぜご飯の準備作業に参加しました。



(会長 熊谷)

【サイクリング引率研修報告】

11月23日(祝日・月)、第3回サイクリング引率研



修サイクリングを行いました。

参加者は5名、今回はとくに埼玉Yの太田聡さん

と筑波学園教会教会員の小形拓光さんにゲスト参加していただきました。



りんりんポート土浦をスタート、霞ヶ浦湖岸を走り富士見塚古墳までの往復約55kmのコース上において、グループ走行におけるハンドサインや声かけの実習を行いました。

昼食は、かすみがうら市交流センターにある「かす



みキッチン」で、地元でとれる食材(わかさぎ、ローズポーク、なまず、しらす、季節の野菜等)を使ったランチをおいしく頂きました。



天候に恵まれ光に輝く霞ヶ浦を見ながらの素晴らしいサイクリングを楽しむことができました。

霞ヶ浦一周約125kmの走破を最終目標に今後も月1回程度の開催を目指してゆきます。

【茨城 YMCA 報告】

11 月の報告

- 2 日 早天祈祷会
- 5 日 総務担当者会
- 7 日 小学生デイキャンプクラブ「つくわいクラブ」
- 9-10 日 障がい児支援バザー
- 10 日 主任会
- 13 日 県民の日
- 14 日- 放課後児童クラブ支援員研修
- 14 日 未就学児デイキャンプクラブ「わんぱくクラブ」
- 16 日 職員礼拝/職員会
- 18 日 障がい児支援バザー
- 21 日 高学年デイキャンプクラブ「トムソーヤ」
- 23 日 サイクリングキャンプ研修
- 25 日 中期計画委員会
- 26 日 インフルエンザ予防接種
- 28 日 障がい児者自立支援活動「たんぼぼクラブ」
- 28 日 いばわいフェスタ
- 28-29 日 リーダーズキャンプ
- 30 日 障がい児支援バザー

12 月の予定

- 1 日 主任会
- 3 日 インフルエンザ予防接種
- 5 日 小学生クリスマス祝会
- 7 日 早天祈祷会
- 7 日 中国語講座体験会
- 7 日-8 日 北関東ディレクタートレーニング
- 9 日 総務担当者会
- 9 日 韓国語講座体験会
- 11-13 日 北関東スキーリーダートレーニング
- 12 日 理事会
- 12 日 Amazon Future Engineer
- 19 日 障がい児者自立支援活動「たんぼぼクラブ」
- 19 日 Amazon Future Engineer
- 14-18 日 国際ウィーク
- 16 日 職員礼拝/職員会
- 16 日 中期計画委員会
- 18 日 放課後子どもプラン研修
- 25 日- 児童クラブウインタースクール開始
- 26-28 日 冬スキーキャンプ
- 29-1/3 日 年末年始休館

(連絡主事 大澤)

【編集後記】

2020 年はあつという間の 1 年でした。COVID をきっかけに様々な変化が押し寄せてきて、まるで一足飛びに 2030 年の世界にタイムスリップしたかのような 1 年でした。思い切ってリモート中心で運営してみて問題なくまわっていくもの、それでもリアルで顔を合わせることが大切なもの、それぞれに気づくことができました。

2021 年も引き続き変化の多い 1 年でしょう。そして変化に伴う痛みを引き受ける嵐のような 1 年となるように思います。茨城 YMCA も茨城ワイズも小舟のような存在ですが、小舟だからこそ、荒波の中でも転覆せずにスイスイと変化を受け入れて航行していく、そんな存在でありたいと願っています。

(書記 村田)

昔観たアニメ映画「風の谷のナウシカ (宮崎駿、徳間書店・博報堂、1984 年)」ではマスク姿の人々、昔読んだ近未来 SF 小説「復活の日 (小松左京、角川書店、1964 年)」では懸命に働く医療従事者たち……。

前者については皆さんよくご存知と思いますので、後者のストーリーをざっとご紹介します。

アメリカ軍の細菌研究所から持ち出されたウイルスを載せた飛行機がアルプス山中に墜落、マイナス 10°C で活動を始める最強猛毒ウイルス (新型コロナウイルスと同じ RNA ウイルス) が世界中に広がってしまった。やがて間もなく南極の越冬隊と原子力潜水艦で任務遂行中のひと握りの人たちだけを残して地球上のすべての人々が死に絶えてしまった。南極で細々と暮らす人々。あるとき南極の日本人地震学者が北アメリカ大陸で起こる巨大地震を予知、ホワイトハウスあたりではその地震により核ミサイル直撃のような振動が起こるといふ。アメリカには東側の核攻撃で国民が死滅しても東側に核ミサイルを撃ち返すシステム「自動報復システム」があった。当然東側にも同様のシステムが存在していた。CIA の調査は東側システムによる核ミサイルのいくつかは南極のアメリカ基地を向いている可能性を指摘していた。東西両方の自動報復システムのスイッチを切りに行かねば今度はほんとうに人類は死滅してしまう。悪魔のウイルスがはびこる世界へ自動報復システムを止めに行く決死隊が組織され出発した。しかし予知されたよりも早く地震が起こり、自動報復システムが核ミサイルを発射してしまった。人類は二度目の滅亡の危機を迎えることに……。

古い映画やドラマを観たり昔読んだ本を読みかえしたりして冬の日の余暇を家で過ごしています。

(会長 熊谷)